

きょう最終態度表明

水俣市漁業調停委

水俣市漁協と新日鉱水俣工場の紛争調停している水俣市漁業調停一県庁の知事応接室で委員会をひら

き、双方の代表を呼んで最終的な態度を表明する。

委員会は寺本知事、中村水俣市長など七人で構成されており、五月からこれまで十数回にわたって双方の意見を調整した。その間工場側は①金銭補償はしない②漁民約百人を工場に雇う③漁民が漁業振興会社をつくれば出資する、とのべ、金銭補償問題を優先的に解決すべきだと二億八千万円を要求する漁民側と対立してきた。

委員会がどのような結論を出すかはまだ明らかでないが、地元水俣市議会などがこんどの紛争解決に恒久的漁民対策を盛り込むことを関係方面に要望しているいきさつなどから、委員会もこの考えをとり入れ、会社側が提示している漁民の雇用や振興会社への出資を中心にした結論が出されるのではないかとみられている。